ノーヒットノーラン
ヒットエンドラン、エンドラン
ファーム〈チーム〉
ファンブル
フィールディング
フォアボール
フォークボール
フォースアウト
ブルペン
ペナントレース
ホームスチール
ポスティングシステム
マジックナンバー
リードオフマン
レガーズ
ワンポイントリリーフ

【ラグビー】

インゴール
ゴールキック
シンビン〔一時退場〕
スクラム〈サイド、トライ〉
スローフォワード
セービング
タックル
タッチ〈キック、ジャッジ〉
トライ
ドロップゴール
ナンバー8
ノーサイド
ノータッチ
ノックオン
ノットストレート
ノットリリースザボール
パント
フェアキャッチ
フッカー
ブラインドサイド
フランカー
プレースキック
プロップ
フロントロー
モール
ラインアウト
ラック
リザーブ
ロック

【陸上競技】

オーバーゾーン
サブトラック
スターター
スターティングブロック
ストライド
スプリットタイム
セパレートコース
ハードリング
バック〈ホーム〉ストレート
フィールド
ペースメーカー

【レスリング】

グレコローマンスタイル
テクニカルフォール
ニアフォール
バック〈ポイント〉
フリースタイル
ブリッジ
ローリング

外国の地名・人名の書き方

1. 現地での呼称に基づく片仮名書きを原則とする。慣用が固定しているものは、それに従う。

〔例〕 ベネチア（英語名ベニス）
ブカレスト（慣用、現地ではブクレシュチ）
アントワープ（慣用、現地ではアントベルペンまたはアンベル）
ネール（慣用、現地ではネルー）
ベートーベン（慣用、現地ではベートホーフェンまたはベートホーベン）

2. 「ヂ」「ヅ」「ヰ」「ヱ」「ヲ」「ヴ」は使わない。V 音の表記には「ヴ」ではなく B 音または W 音を用いる。

〔例〕 Woodbridge　ウッドブリッジ
Zululand　ズールーランド
William　ウィリアム
Ivanovo　イワノボ
Vatican　バチカン
Vivaldi　ビバルディ

3. Ye、Je は「イエ」または「エ」と書く。

〔例〕 Yemen　イエメン
Yellowstone　イエローストン
Jerusalem　エルサレム

4. t、d は「ト」「ド」、ti（ty）、di（dy）は「ティ」「ディ」、tu、du、tou、dou は「トゥ（テュ）」「ドゥ（デュ）」と書く。ただし慣用が固定したものには「チ」「ジ」「ツ」「ズ」などを用いる。ロシア語やブラジルのポルトガル語の ti、di も「チ」「ジ」と表記する。

〔例〕 Tbilisi　トビリシ
Dnepr（川）　ドニエプル
Truman　トルーマン

Atlantic City　アトランティックシティー
Düsseldorf　デュッセルドルフ
Christie　クリスティ
Kennedy　ケネディ
Ouagadougou　ワガドゥグ
Turku　トゥルク
Dushanbe　ドゥシャンベ
〔例外〕Nightingale　ナイチンゲール
Argentina　アルゼンチン
Edison　エジソン
Honduras　ホンジュラス
Titov　チトフ

5.　qua、qui、que、quo は「クア」「クイ」「クエ」「クオ」と書く。gua、gui、gue、guo などについても同じ（qui、que、gui、gue はスペイン語、ポルトガル語では「キ」「ケ」「ギ」「ゲ」となる）。
〔例〕Quang Ngai　クアンガイ
Nicaragua　ニカラグア
〔例外〕Basque　バスク

6.　「ジェ」の音で、慣用が固定したものは「ゼ」と書く。
〔例〕Magellan　マゼラン
Los Angeles　ロサンゼルス

7.　Wi、We、Wo（Wa）は「ウィ」「ウェ」「ウォ」と書く。
〔例〕Wisconsin　ウィスコンシン
Wilson　ウィルソン
Wellington　ウェリントン
Warwick　ウォリック
Warren　ウォーレン

8.　語尾の ia（ya）は「ア」と書き、「ヤ」とはしない。
〔例〕Maria　マリア
California　カリフォルニア
Kenya　ケニア
〔例外〕Persia　ペルシャ

9.　はねる音「ン」、つまる音「ツ」、のばす音「ー」ははっきりしたもの以外はできるだけ省略する。長音は長音符号「ー」で示し、母音字を重ねたり、「ウ」を用いることはしない。
〔例〕Peloponnesos　ペロポネソス
Philippines　フィリピン
Lippmann　リプマン
Ghana　ガーナ

10.　二重母音「エイ」「オウ」は原則として長音符号で表す。
〔例〕Adelaide　アデレード
Baker　ベーカー
Gold Coast　ゴールドコースト
〔例外〕Brady　ブレイディ
Marseille　マルセイユ

11.　2語以上からなるものも原則として「・」なしで表記する。
〔例〕New York　ニューヨーク
Dar es Salaam　ダルエスサラーム
Giscard d'Estaing　ジスカールデスタン
Jean-Paul Sartre　ジャンポール・サルトル
Kohde-Kilsch　コーデキルシュ
〔例外〕Bosnia and Herzegovina　ボスニア・ヘルツェゴビナ
St. Vincent and the Grenadines　セントビンセント・グレナディーン
Sri Jayawardenepura Kotte　スリジャヤワルデネプラ・コッテ

12.　姓と名を併記する場合は、間に「・」を入れる。
〔例〕バラク・オバマ　ウサイン・ボルト

13.　州・市・山・川・島・湾・東西南北などは必要に応じて日本語にする。その他は慣用が固定しているものを除き、できるだけ日本語に訳さない。
〔例〕State of Illinois　イリノイ州
Mexico City　メキシコ市
the Hudson River　ハドソン川
Western Samoa　西サモア
Queen Elizabeth Islands　クイーンエリザベス諸島

〔慣用が固定したものの例〕
地中海、北海、黒海、紅海、太平洋、大西洋、北極海、南極海など。

14. ヨーロッパは原則として「欧州」と書く。イギリスは英国(英)、アメリカ合衆国は米国(米)、ラテンアメリカは中南米と表記する。

15. 外国名を見出しで略記するときは、仏、伊、独、豪、加、印、露〔一般的には片仮名の「ロ」を使う〕、比、越は使ってもよい。ただし本文中に使用する際は①仏、伊、独、豪＝「独仏首脳会談」などと列記に限り使ってよい②加、印、露、比、越＝慣用が定着している場合、列記で使うことができる—とする。

形容詞的に使う場合は慣用に従って使うことができる。

〔例〕 仏大使館　独首相　豪クイーンズランド州　比大統領

16. 主な外国語別の書き方は、以下の原則による。

(1) **英語**

(ア) 語尾の ley は「リー」と書く。

〔例〕 McKinley　マッキンリー
Stanley　スタンリー

〔例外〕 Death Valley　デスバレー

(イ) 語尾の ry は、できるだけ「リ」とし、長音を付けない。ただし慣用が固定したものは除く。

〔例〕 Montgomery　モンゴメリ

〔例外〕 Henry　ヘンリー

(ウ) 語尾の son は「ソン」と書き、「スン」とはしない。

〔例〕 Edison　エジソン
Richardson　リチャードソン

(エ) Sir（サー）は准男爵（baronet）または勲爵士（knight）に対する敬称で、ファーストネームかフルネームに付ける。「サー」を付ける場合には「氏」などの敬称は不要だが、官職名は付記できる。叙勲自体がニュースになった場合や、横顔、死亡記事などで肩書の列記が必要な場合以外は使わない。

〔例〕 サー・ウィンストン（・チャーチル）
サー・W・チャーチル（サー・チャーチルは誤り）

(オ) Lord は貴族に対する敬称で「卿」と訳す。

〔例〕 大法官アーバイン卿

(2) **ドイツ語**

(ア) 語頭の St、Sp の S は「シュ」と書く。

〔例〕 Spree　シュプレー
Strauss　シュトラウス

(イ) 語尾の nach、bach は「ナハ」「バハ」と書く。

〔例〕 Eisenach　アイゼナハ
Sulzbach　ズルツバハ

〔例外〕 Bach　バッハ

(ウ) 語尾の berg、burg の g は「ク」、ng の g は「グ」、ig の g は「ヒ」と書く。

〔例〕 Heidelberg　ハイデルベルク
Hamburg　ハンブルク
Straubing　シュトラウビング
Schilling　シリング
Leipzig　ライプチヒ

(エ) 語尾の d は「ト」と書く。

〔例〕 Rheinland　ラインラント
Dortmund　ドルトムント
Freud　フロイト

(オ) 語頭の W は「ワ」「ウィ」「ウ」「ウェ」「ウォ」と書く。

〔例〕 Weimar　ワイマール
Waigel　ワイゲル
Wien　ウィーン
Westfalen　ウェストファーレン
Weber　ウェーバー
Wolfgang　ウォルフガング

〔例外〕 Wuppertal　ブッパータール
Württemberg　ビュルテンベルク

(カ) 語頭の V は「ハ」行で書く。

〔例〕 Vogelsberg　フォーゲルスベルク

(キ) 語尾の er は「アー」と書く。

〔例〕 Hannover　ハノーバー

Kaiser　カイザー
〔例外〕Oder　オーデル

(3) **フランス語**

(ア) oi（oy）は「オワ」と書く。
〔例〕Poitiers　ポワチエ
Loire　ロワール
François　フランソワ
Voynet　ボワネ

(イ) 語尾の bourg は「ブール」と書く。
〔例〕Cherbourg　シェルブール
Strasbourg　ストラスブール

(ウ) ille、illes は「イユ」と書く。ただし「町」「都会」を意味する ville は「ビル」とする。
〔例〕Marseille　マルセイユ
Versailles　ベルサイユ
〔例外〕Charleville　シャルルビル

(エ) 語尾の gne は「ニュ」、ne は「ヌ」、annes は「アンヌ」と書く。
〔例〕Champagne　シャンパーニュ
Bourgogne　ブルゴーニュ
Seine　セーヌ
Catherine　カトリーヌ
Cannes　カンヌ

(4) **イタリア語**

(ア) 母音の前の gn は「ニ」と書く。
〔例〕Bologna　ボローニャ
Agnelli　アニェリ
Rognoni　ロニョーニ

(イ) 母音に挟まれた s の多くは濁音で書く。
〔例〕Vesuvio　ベズビオ
Siracusa　シラクーザ
〔例外〕Pisa　ピサ

(ウ) glia は「リャ」と書く。
〔例〕Cagliali　カリャリ

(エ) cia、ciu、ce、cio は「チャ」「チュ」「チェ」「チョ」と、gia、giu、ge、gio は「ジャ」「ジュ」「ジェ」「ジョ」と書く。
〔例〕Ciano　チャノ
Francesco　フランチェスコ
Gianni　ジャンニ
Giuliano　ジュリアノ
Giorgio　ジョルジョ

(5) **スペイン語**

(ア) ll はスペインでは「リャ」「リュ」「リョ」のように書く。中南米では「ヤ」行の音または「ジャ」「ジュ」「ジョ」の音になる。
〔例〕Castilla　カスティーリャ
Fontelles　フォンテリエス
Medellín　メデジン
Riviello　リビエジョ
〔例外〕Sevilla　セビリア

(イ) j は「ハ」行音で書く。
〔例〕Ojos del Salado（山）　オホスデルサラド
Jiménez　ヒメネス

(ウ) jua は「フア」と書く。
〔例〕San Juan　サンフアン

(エ) h は無音として扱う。
〔例〕Anáhuac　アナワク
Heredia　エレディア
〔例外〕Honduras　ホンジュラス
O'Higgins　オヒギンス

(オ) qui、que は「キ」「ケ」と書く。
〔例〕Iquique　イキケ
Vásquez　バスケス

(カ) gua は「グア」、gui、gue は「ギ」「ゲ」、güi、güe は「グイ」「グエ」と書く。
〔例〕Uruguay　ウルグアイ
Guayaquil　グアヤキル

Rodríguez　ロドリゲス
Argüello　アルグエジョ
Güido　グイド

(キ) gi、ge は「ヒ」「ヘ」と書く。
〔例〕 Monge　モンヘ
Gigante　ヒガンテ

(ク) s、z は、全て「サ」行で書く。
〔例〕 González　ゴンサレス
Serrano　セラノ
Zedillo　セディジョ

(ケ) ch は「チャ」「チ」「チュ」「チェ」「チョ」と書く。
〔例〕 Ache　アチェ
Ochoa　オチョア

(コ) 人名はクリスチャンネームの後に父姓と母姓が続く。クリスチャンネームは一つとは限らない。
〔例〕 フィデル（クリスチャンネーム）・カストロ（父姓）・ルス（母姓）→カストロ

(6) **ポルトガル語**

(ア) ão は「アン」と書く。
〔例〕 João　ジョアン
São Paulo　サンパウロ
〔例外〕 Pão de Açucar　ポンジアスカル

(イ) ch は「シャ」行で表す。
〔例〕 Chaves　シャベス

(ウ) ça、çu、ço は「サ」「ス」「ソ」と書く。
〔例〕 Iguaçú　イグアス

(エ) gi、ge は「ジ」「ジェ」、gui、gue は「ギ」「ゲ」と書く。
〔例〕 Getúlio　ジェトゥリオ
Guerreiro　ゲレイロ

(オ) ブラジルでは ti と語尾の te は「チ」、di と語尾の de は「ジ」と発音される傾向があり、そう表記する。
〔例〕 Curitiba　クリチバ
〔例外〕 Belo Horizonte　ベロオリゾンテ

(カ) h は発音しない。
〔例〕 Bahia　バイア

(キ) ブラジルでは語尾または音節末の l は「ウ」に近い発音になり、スポーツ記事などでそう表記する場合がある。
〔例〕 Ronaldo　ロナウド

(ク) lh は「リャ」行、nh は「ニャ」行で表す。
〔例〕 Folha　フォリャ
Garotinho　ガロチニョ

(ケ) 語尾または音節末の m は「ン」と書く。
〔例〕 Belém　ベレン
Samba　サンバ

(コ) s は母音間では濁る。ss は常に清音。z は濁るが、語尾の場合は清音。
〔例〕 José　ジョゼ
Mato Grosso　マトグロソ
Cruz　クルス

(サ) 人名はクリスチャンネームの後に母姓と父姓が続く。
〔例〕 ジョルジェ・フェルナンド（以上クリスチャンネーム）・ブランコ（母姓）・デ・サンパイオ（父姓）

(シ) ブラジルでは愛称で呼ばれることが多く、注意が要る。
〔例〕 ペレ（愛称）
＝エドソン・アランテス・ド・ナシメント（本名）

(7) **ロシア語**

ロシア語のアルファベットと、対応するラテン文字は以下の通り。Йは従来 J としてきたが、英語メディアで定着している Y に置き換える。（上段の左が大文字、右が小文字。下段は対応するラテンつづり）

Аа	Бб	Вв	Гг	Дд	Ее	Ёё	Жж	Зз
A	B	V	G	D	E(Ye)	Yo	Zh	Z

Ии	Йй	Кк	Лл	Мм	Нн	Оо	Пп	Рр	Сс
I	Y	K	L	M	N	O	P	R	S

Тт	Уу	Фф	Хх	Цц	Чч	Шш	Щщ	Ъъ
T	U	F	Kh	Ts	Ch	Sh	Shch	—
Ыы	Ьь	Ээ	Юю	Яя				
Y	'	E	Yu	Ya				

(ア) 語尾または澄んだ子音の前の濁音は清音となる。ただし慣用が固定したものを除く。

〔例〕 Khar'kov ハリコフ
Petropavlovsk ペトロパブロフスク
Sankt Peterburg サンクトペテルブルク
Nakhodka ナホトカ
Petrozavodsk ペトロザボーツク
Vitebsk ビテプスク
Kavkaz カフカス

〔例外〕 Kaliningrad カリーニングラード

(イ) v は原則として「ワ」行音で書くが、慣用が固定したものは「バ」行音で表記する。

〔例〕 Moskva モスクワ
Markova マルコワ
Voloshin ウォロシン
Vladimir ウラジーミル
Valentina ワレンチナ

〔例外〕 Valdai バルダイ
Volga ボルガ

(ウ) y は「ウイ」と書く。ただし й に対応する y については(ケ)を参照。

〔例〕 Kuibyshev (Kujbyshev) クイブイシェフ
Kozyrev コズイレフ

(エ) kh は「ハ」行音として表記する。

〔例〕 Sakhalin サハリン
Khrennikov フレンニコフ

(オ) zh は「ジャ」「ジ」「ジュ」「ジェ」「ジョ」と書く。

〔例〕 Voronezh ボロネジ
Zhukov ジューコフ

(カ) 軟音符「'」は「イ」として扱う。対応するラテンつづりはない。外電などではしばしば軟音符が省略されるので要注意。

〔例〕 Arkhangel'sk アルハンゲリスク
Ol'ga オリガ
Gogol' ゴーゴリ

(キ) ё も外電などでは e になることが多いので要注意。

〔例〕 Gorbachev ゴルバチョフ
Khrushchev フルシチョフ

(ク) ti、di は「チ」「ジ」と書く。

〔例〕 Rasputin ラスプーチン
Kandinsky カンジンスキー

〔例外〕 Borodin ボロディン

(ケ) -ский (skiy)、-ний (niy) または-ный (nyy) を外電は-sky、ny と表記するが、片仮名では「スキー」「ニー」「ヌイ」とする。

〔例〕 Kerensky ケレンスキー
Nizhny ニジニー
Zhelezny ジェレーズヌイ

(8) **中・東欧語**

(ア) セルビア・クロアチア語

c は「ツ」、č は「チュ」、ć は「チ」と書く。
š は「シュ」と、ž は「ジュ」と書く。

〔例〕 Leskovac レスコバツ
Brčko ブルチュコ
Dušan ドゥシャン
Jože ヨジェ

(イ) ポーランド

c は「ツ」、cz は「チ」、ch は「フ」と書く。
ただし ci は「チ」。sz は「シュ」、rz、ż は「ジュ」。ę は「エン」、ą は「オン」、ó は「ウ」。ł は「ワ」行音となる。
人名の末尾の ski は「スキ」と書く。

〔例〕 Katowice カトウィツェ
Mieczysław ミエチスワフ
Suchocka スホツカ

Skubiszewski　スクビシェフスキ
Jerzy　イエジ
Łódź　ウッジ
Cięstchowa　チェンストホワ

(ウ) チェコ、スロバキア
č は「チ」、š は「シュ」、ř は「ジュ」と書く。
〔例〕 Čalfa　チャルファ
Škoda　シュコダ
Jiři　イジ

(エ) ハンガリー
s は「シュ」、sz は「ス」の音。cs は「チ」。
c、cz、tz はいずれも「ツ」、gy、zs は「ジュ」と書く。
〔例〕 Janos　ヤーノシュ
Laszlo　ラースロ
Csaba　チャバ
Ferenc　フェレンツ
Göncz　ゲンツ
Gergatz　ゲルガーツ
Balazs　バラージュ

(9) **中国語**　➡人名等に使われる中国略字表（675ページ）

(ア) 地名、人名とも漢字で書くことを原則とする。
〔例〕 北京　広州　鄧小平　江沢民

(イ) 中国略字は、原則として日本字（常用漢字、人名漢字、表外字）に直して書く。
〔例〕 沈阳→瀋陽　刘→劉　叶→葉　陈云→陳雲
庄則棟→荘則棟

(ウ) 中国略字と同じ字体の漢字が日本字にもある場合、字義が異なっていても日本字を使う方が適切なときには、そうしてもよい。
〔例〕 井岡山（井崗山とはしない）
肖向前（蕭向前とはしないが、萧は蕭を使う）
王炳于（王炳於とはしない）

(エ) チベット、モンゴルなどの地名、人名は片仮名で書く。
〔例〕 チベット　ラサ　モンゴル　チャムス　ハルビン
チチハル　ハイラル　マカオ　アモイ　スワトー
ウランフ　アペイ・アワンジメイ　サイフジン
チンギスハン

(オ) 難しい漢字の場合は平仮名で読み方を示す。
〔例〕 邯鄲（かんたん）　王漢斌（おうかんひん）
〔注〕 (1) 現地音が日本で慣用されている場合や、現地音で示す必要がある場合は片仮名で書く。
〔例〕 張芸謀（チャンイーモウ）
(2) 現地音が分かっていて漢字不明の場合は、発音通りの片仮名書きとする。

(カ) 中華人民共和国の略称は「中国」。「中共」は中国共産党の略称。台湾は「中華民国」としないで、地域名の「台湾」を用いる。国には数えない。

(10) **韓国語・朝鮮語**

(ア) 地名、人名とも漢字で書くことを原則とする。字体は本社の漢字使用の原則に従う。当てはめる字がないときは、現地音を片仮名で書く。必要があれば人名に現地音の読みを片仮名で付ける。
〔例〕 平壌　板門店　釜山　ソウル　黄海南道クワイル郡
金大中（キムデジュン）　金正日（キムジョンイル）
〔注〕 日本が植民地支配の過程で命名した「京城」は原則として使わず、「ソウル」と表記する。経歴などに出る「京城師範卒」は「旧京城師範卒」とする。

(イ) 国名は、南の「大韓民国」は「韓国」、北の「朝鮮民主主義人民共和国」は「北朝鮮」と略記する。
〔注〕 北朝鮮の政権党は「朝鮮労働党」（「北」がない）。

(ウ) 朝鮮の略称を「鮮」とはしない。
〔注〕 北鮮→北朝鮮　南鮮→南朝鮮
日鮮→日朝または日本・朝鮮

(エ) 朝鮮半島を「韓半島」とは書かない。韓国側当局者の発言を引用する場合も「北韓」は避け、「北側の主張では…」などと工夫する。

(オ) 韓国と北朝鮮で発音が異なる場合は、現地の読みに従う。
〔例〕 李は韓国では「イ」、北朝鮮では「リ」と読む。

(カ) 当てはめる漢字が分からないときには、現地音を片仮名で書く。一部だけ分かる場合は、漢字と片仮名の交ぜ書きとする。
〔例〕 金(キム)ヨンジャ

(キ) 民族全体を表す場合は「朝鮮民族」と書く。南北に住む者の全てを指す場合は「韓国・朝鮮人」とする。国籍が明白な場合は「韓国人」「韓国民」「北朝鮮国民」などと書く。過去も含めた、より広い概念で「朝鮮人」を使うこともあり得る。
〔例〕 (韓国・)朝鮮人被爆者

在日の人々全体は「在日韓国・朝鮮人」「在日コリアン」とする。在日の人を「北朝鮮国籍」とするのは間違いなので特に注意が必要。

記事の内容により「在米韓国人」「韓国系ロシア人」などと書くこともある。

(11) **東南アジア**

(ア) ベトナム人の姓名は通常①父姓②男女を区別するミドルネーム(ない場合もある)③本人の名—の三つの部分からなる。記事の初めでは原則としてフル表記し、2回目以降および見出しでは最後の本人名を使う。
〔例〕 グエン・タン・ズン首相→ズン首相

(イ) タイやラオスでは通常①本人名②家族名—の順。略す際には最初の本人名をとるが、頭に尊称がつく場合はその次をとる。
〔例〕 アピシット・ウェチャチワ元首相→アピシット元首相
トンシン・タマウォン首相→トンシン首相
クンイン・スパトラ・マサディット首相府相→スパトラ首相府相(クンインは女性の尊称)

(12) **アフリカ**

語頭のはねる音「ン」は「ヌ」と書くが、慣用が固定しているものはそれに従う。
〔例〕 N'Djamena ヌジャメナ
Ngorongoro ヌゴロンゴロ
〔例外〕 Nkrumah エンクルマ

外国地名一覧

◎は国または特定行政区画
○は首都または政庁所在地
〈 〉は前記地名の付く行政区画、地形、建造物など
( )は補足説明。旧名、別名は必要に応じて入れる
アルファベットは共同通信の英文記事の表記

【ア】

アーカンザス川	Arkansas R.	米国
アーカンザスシティー	Arkansas City	米国
アーカンソー州	Arkansas : State	米国
アーヘン	Aachen	ドイツ
アイオワ州	Iowa : State	米国
◎ アイスランド	Iceland	欧州
アイゼナハ	Eisenach	ドイツ
アイセル〈湖、川〉	Ijssel	オランダ
◎ アイルランド	Ireland	欧州
アウクスブルク	Augsburg	ドイツ
アウシュビッツ〈強制収容所〉(所在地はオシフィエンチム)	Auschwitz	ポーランド
アカバ	Aqaba	ヨルダン
アカプルコ	Acapulco	メキシコ
○ アクラ	Accra	ガーナ
アクロン	Akron	米国
○ アシガバート	Ashgabat	トルクメニスタン
アシャンティ	Ashanti	ガーナ
アストラハン	Astrakhan	ロシア
○ アスマラ	Asmara	エリトリア
アスワン	Aswan	エジプト
○ アスンシオン	Asuncion	パラグアイ
◎ アゼルバイジャン	Azerbaijan	西アジア

(オ) 韓国と北朝鮮で発音が異なる場合は、現地の読みに従う。
〔例〕 李は韓国では「イ」、北朝鮮では「リ」と読む。

(カ) 当てはめる漢字が分からないときには、現地音を片仮名で書く。一部だけ分かる場合は、漢字と片仮名の交ぜ書きとする。
〔例〕 金(キム)ヨンジャ

(キ) 民族全体を表す場合は「朝鮮民族」と書く。南北に住む者の全てを指す場合は「韓国・朝鮮人」とする。国籍が明白な場合は「韓国人」「韓国民」「北朝鮮国民」などと書く。過去も含めた、より広い概念で「朝鮮人」を使うこともあり得る。
〔例〕 (韓国・)朝鮮人被爆者

在日の人々全体は「在日韓国・朝鮮人」「在日コリアン」とする。在日の人を「北朝鮮国籍」とするのは間違いなので特に注意が必要。

記事の内容により「在米韓国人」「韓国系ロシア人」などと書くこともある。

(11) **東南アジア**

(ア) ベトナム人の姓名は通常①父姓②男女を区別するミドルネーム(ない場合もある)③本人の名—の三つの部分からなる。記事の初めでは原則としてフル表記し、2回目以降および見出しでは最後の本人名を使う。
〔例〕 グエン・タン・ズン首相→ズン首相

(イ) タイやラオスでは通常①本人名②家族名—の順。略す際には最初の本人名をとるが、頭に尊称がつく場合はその次をとる。
〔例〕 アピシット・ウェチャチワ元首相→アピシット元首相
トンシン・タマウォン首相→トンシン首相
クンイン・スパトラ・マサディット首相府相→スパトラ首相府相(クンインは女性の尊称)

(12) **アフリカ**

語頭のはねる音「ン」は「ヌ」と書くが、慣用が固定しているものはそれに従う。
〔例〕 N'Djamena ヌジャメナ
Ngorongoro ヌゴロンゴロ
〔例外〕 Nkrumah エンクルマ

外国地名一覧

◎は国または特定行政区画
○は首都または政庁所在地
〈 〉は前記地名の付く行政区画、地形、建造物など
( )は補足説明。旧名、別名は必要に応じて入れる
アルファベットは共同通信の英文記事の表記

【ア】

アーカンザス川	Arkansas R.	米国
アーカンザスシティー	Arkansas City	米国
アーカンソー州	Arkansas : State	米国
アーヘン	Aachen	ドイツ
アイオワ州	Iowa : State	米国
◎ アイスランド	Iceland	欧州
アイゼナハ	Eisenach	ドイツ
アイセル〈湖、川〉	Ijssel	オランダ
◎ アイルランド	Ireland	欧州
アウクスブルク	Augsburg	ドイツ
アウシュビッツ〈強制収容所〉(所在地はオシフィエンチム)	Auschwitz	ポーランド
アカバ	Aqaba	ヨルダン
アカプルコ	Acapulco	メキシコ
○ アクラ	Accra	ガーナ
アクロン	Akron	米国
○ アシガバート	Ashgabat	トルクメニスタン
アシャンティ	Ashanti	ガーナ
アストラハン	Astrakhan	ロシア
○ アスマラ	Asmara	エリトリア
アスワン	Aswan	エジプト
○ アスンシオン	Asuncion	パラグアイ
◎ アゼルバイジャン	Azerbaijan	西アジア

【レ】

○ レイキャビク	Reykjavik	アイスランド
レイテ島	Leyte I.	フィリピン
レークプラシッド	Lake Placid	米国
レシフェ	Recife	ブラジル
レスター	Leicester	英国
◎ レソト	Lesotho	アフリカ
レッジョディカラブリア	Reggio di Calabria	イタリア
レッジョネレミリア	Reggio nell' Emilia	イタリア
◎ レバノン	Lebanon	中東
レユニオン	Reunion	インド洋(フランス領)

【ロ】

ローザンヌ	Lausanne	スイス
○ ローマ	Rome	イタリア
ロサリオ	Rosario	アルゼンチン
ロサンゼルス	Los Angeles	米国
◎ ロシア	Russia	欧州・アジア
ロゼッタ	Rosetta	エジプト
○ ロゾー	Roseau	ドミニカ
ロッテルダム	Rotterdam	オランダ
ロビト	Lobito	アンゴラ
ロプノル	Lop Nor	中国
○ ロメ	Lome	トーゴ
ロレーヌ	Lorraine	フランス
○ ロンドン	London	英国
ロンドンデリー	Londonderry	英国
ロンボク〈海峡、島〉	Lombok	インドネシア

【ワ】

ワイオミング州	Wyoming : State	米国
○ ワガドゥグ	Ouagadougou	ブルキナファソ
○ ワシントン	Washington	米国
(正式名称は District of Columbia=D.C. コロンビア特別区)		
ワシントン州	Washington : State	米国
ワディハルファ	Wadi Halfa	スーダン
○ ワルシャワ	Warsaw	ポーランド

樺太、千島の地名の書き方

【北方領土・千島列島】

列島名は「千島列島」と書く。北方領土は千島列島に含まれないという日本政府の立場と矛盾しないよう注意する。ロシア側の呼び名を書く際は「クリール諸島（北方領土と千島列島）」などとする。個々の島名、地名は次の区別をする。

1. 日本が領土権を主張しているものは漢字書きにし、必要ならば読みを付ける。
   歯舞（はぼまい） 色丹（しこたん） 国後（くなしり） 択捉（えとろふ） 紗那（しゃな）（ロシアの呼び名はクリーリスク）古釜布（ふるかまっぷ）（ロシア名はユジノクリーリスク）
2. 領土権を主張していないものは、ロシアの呼び方を片仮名書きにし、旧日本名を丸かっこに入れる。
   シュムシュ島（占守島）パラムシル島（幌筵島）シャシコタン島（捨子古丹島）シムシル島（新知島）ウルップ島（得撫島）トコタン（床丹）

【樺太】

全島名、個々の地名いずれもロシアの呼び名を片仮名で書き、必要ならば丸かっこに漢字で旧日本名を入れる。ただし「樺太」は旧名のまま使ってもよい。

サハリン（樺太）アニワ湾（亜庭湾）ウグレゴルスク（恵須取）コルサコフ（大泊）ドリンスク（落合）モネロン島（海馬島）チュレニ島（海豹島）イリインスキー（久春内）ポロナイスク（敷香）チェルペニア湾（多来加湾）トマリ（泊居）ユジノサハリンスク（豊原）ゴルノザボツク（内幌）アニワ岬（中知床岬）クリリオン岬（西能登呂岬）ポロナイ川（幌内川）ネベリスク（本斗）ホルムスク（真岡）タタール海峡（間宮海峡）

人名等に使われる中国略字表

中国の人名や地名に使われる簡体字(略字)は、漢字表や表外漢字字体表などの共同通信が使用する日本の字体に書き換える。

略字の大半は「へんとつくり」のどちらか、または両方を簡略化している。例えば「识」は讠(言)と只(戠)を組み合わせた「識」の略字。それ以外に、漢字の一部または全体を簡略化した「新略字」がある。書き換えの便宜のための対照表では、人名等にほとんど使われない漢字のほか、書き換える必要のない日本と同形の略字(会、万、当など)は原則的に省いた。

略字を書き換える際、特に注意すべき点は次の通り(かっこ内は本社で使用する字体)。

①日本字と同形だが原字が異なり、書き換えが必要なもの

〔例〕叶(葉)——姓に使う。葉選平、葉剣英
云(雲)——地名(雲南省、連雲港)や名の一部に使う
机(機)——名の一部などに使用

②中国語で同音の異なる漢字を一つの簡体字にくくったものがあり、書き分ける必要がある。特に注意すべき字は次の通り

〔例〕沈(沈・瀋)——姓は「沈」、地名は「瀋」(瀋陽)
庄(庄・荘)——普通「荘」を使う。石家荘、荘則棟
谷(谷・穀)——姓は「谷」、「穀」は名に使うことがある
钟(鍾・鐘)——姓は「鍾」、名も「鍾」が普通
范(范・範)——姓は「范」、「範」は名の一部に使用
干(干、乾、幹)——姓は「干」、名は「幹」が普通

③頻出する簡体字の一字姓

马(馬)	齐(斉)	刘(劉)	邓(鄧)	罗(羅)	华(華)
赵(趙)	孙(孫)	杨(楊)	郑(鄭)	严(厳)	韩(韓)
冯(馮)	陈(陳)	许(許)	吴(呉)	苏(蘇)	龚(龔)
吕(呂)	习(習)	卢(盧)	张(張)	陆(陸)	迟(遅)
关(関)	邹(鄒)	顾(顧)	肃(粛)	钟(鍾)	谭(譚)

へんとつくりに使用

讠〔言〕	钅〔金〕	饣〔食〕	纟〔糸〕	艹〔艸・草〕
学〔学・學〕	亦〔亦・變〕	医〔医〕	收〔収〕	冯〔馮〕
圣〔尺・聖〕	易〔易〕	只〔戠〕	圣〔圣・聖〕	

へんとつくりおよび略字に使用

2 画	仑〔侖〕	兰〔蘭〕	孙〔孫〕	备〔備〕
几〔幾〕	仓〔倉〕	〃〔蘭〕	阴〔陰〕	郑〔鄭〕
3 画	风〔風〕	**6 画**	买〔買〕	单〔単〕
与〔与〕	乌〔烏〕	动〔動〕	吕〔呂〕	审〔審〕
广〔広〕	为〔為〕	执〔執〕	**7 画**	肃〔粛〕
门〔門〕	队〔隊〕	亚〔亜〕	进〔進〕	录〔録〕
义〔義〕	**5 画**	过〔過〕	壳〔殻〕	画〔画〕
马〔馬〕	戋〔戔〕	厌〔厭〕	严〔厳〕	**9画以上**
乡〔郷〕	节〔節〕	页〔頁〕	两〔両〕	荐〔薦〕
4 画	龙〔竜〕	达〔達〕	丽〔麗〕	带〔帯〕
丰〔豊〕	东〔東〕	尧〔堯〕	时〔時〕	尝〔嘗〕
无〔無〕	卢〔盧〕	毕〔畢〕	佥〔僉〕	将〔将〕
韦〔韋〕	业〔業〕	〃〔卒〕	龟〔亀〕	亲〔親〕
专〔専〕	归〔帰〕	师〔師〕	犹〔猶〕	举〔挙〕
云〔雲〕	尔〔爾〕	岁〔歳〕	穷〔窮〕	聂〔聶〕
艺〔芸〕	乐〔楽〕	岂〔豈〕	灵〔霊〕	虑〔慮〕
历〔歴〕	鸟〔鳥〕	迁〔遷〕	吴〔呉〕	监〔監〕
〃〔暦〕	刍〔芻〕	乔〔喬〕	奂〔奐〕	笔〔筆〕
车〔車〕	汇〔匯〕	华〔華〕	岛〔島〕	爱〔愛〕
冈〔岡〕	宁〔寧〕	杀〔殺〕	**8 画**	离〔離〕
贝〔貝〕	边〔辺〕	刘〔劉〕	齿〔歯〕	宾〔賓〕
见〔見〕	发〔発〕	齐〔斉〕	卖〔売〕	难〔難〕
气〔気〕	〃〔髪〕	产〔産〕	虏〔虜〕	隐〔隠〕
长〔長〕	圣〔聖〕	农〔農〕	罗〔羅〕	窜〔竄〕
从〔従〕	对〔対〕	寻〔尋〕	鱼〔魚〕	

新略字

2 画
厂〔廠〕
卜〔卜〕
〃〔蔔〕
儿〔児〕
了〔了〕
〃〔瞭〕

3 画
干〔干〕
〃〔幹〕
〃〔乾〕
亏〔虧〕
于〔于〕
〃〔於〕
才〔才〕
〃〔纔〕
亿〔億〕
卫〔衛〕
飞〔飛〕
习〔習〕

4 画
开〔開〕
厅〔庁〕
仆〔僕〕
币〔幣〕
仅〔僅〕
凤〔鳳〕
斗〔斗〕
〃〔鬪〕
忆〔憶〕
认〔認〕
丑〔醜〕
办〔辦〕
邓〔鄧〕
劝〔勧〕
书〔書〕
升〔升〕
〃〔昇〕

5 画
击〔擊〕
术〔術〕
灭〔滅〕
帅〔帥〕
叶〔葉〕
电〔電〕
只〔只〕
〃〔隻〕
叹〔嘆〕
丛〔叢〕
处〔処〕
务〔務〕
头〔頭〕
汉〔漢〕
让〔讓〕
辽〔遼〕
台〔台〕
〃〔颱〕
〃〔擡〕

6 画
巩〔鞏〕
扫〔掃〕
权〔権〕
协〔協〕
夺〔奪〕
夸〔誇〕
划〔劃〕
尘〔塵〕
团〔団〕
网〔網〕
优〔優〕
伤〔傷〕
价〔価〕
后〔后〕
〃〔後〕
众〔衆〕
爷〔爺〕
伞〔傘〕
杂〔雜〕
冲〔衝〕
庄〔庄〕
〃〔荘〕
庆〔慶〕
关〔関〕
兴〔興〕
讲〔講〕
导〔導〕
阳〔陽〕
阶〔階〕
妇〔婦〕
戏〔戯〕
观〔観〕
欢〔歓〕
纤〔繊〕
异〔異〕
并〔並〕
〃〔併〕

7 画
远〔遠〕
运〔運〕
坛〔壇〕
坏〔壞〕
护〔護〕
块〔塊〕
报〔報〕
拟〔擬〕
芦〔芦〕
〃〔蘆〕
苏〔蘇〕
极〔極〕
还〔還〕
县〔県〕
里〔里〕
〃〔裏〕
园〔園〕
邮〔郵〕
听〔聴〕
佣〔傭〕
彻〔徹〕
谷〔谷〕
〃〔穀〕
邻〔隣〕
系〔系〕
〃〔係〕
〃〔繋〕
这〔這〕
应〔応〕
庐〔廬〕
疗〔療〕
灿〔燦〕
沟〔溝〕
沪〔滬〕
沈〔沈〕
〃〔瀋〕
怀〔懐〕
忧〔憂〕
启〔啓〕
补〔補〕
层〔層〕
迟〔遅〕
际〔際〕
陆〔陸〕
鸡〔鶏〕
弃〔棄〕
驴〔驢〕
灾〔災〕

8 画
环〔環〕
拥〔擁〕
势〔勢〕
苹〔蘋〕
范〔范〕
〃〔範〕
柜〔櫃〕
松〔松〕
〃〔鬆〕
构〔構〕
丧〔喪〕
购〔購〕
郁〔鬱〕
练〔練〕
枣〔棗〕
奋〔奮〕
态〔態〕
轰〔轟〕
胁〔脅〕
岭〔嶺〕
图〔図〕
制〔制〕
〃〔製〕
凭〔憑〕
征〔征〕
〃〔徵〕
肤〔膚〕
变〔変〕
庙〔廟〕
卷〔巻〕
〃〔捲〕
怜〔憐〕
帘〔簾〕
实〔実〕
隶〔隷〕
艰〔艱〕
杰〔傑〕
泪〔涙〕

9 画
帮〔幇〕
赵〔趙〕
药〔薬〕
标〔標〕
栏〔欄〕
树〔樹〕
面〔面〕
〃〔麺〕
牵〔牽〕
战〔戦〕
临〔臨〕
显〔顯〕
虾〔蝦〕
虽〔雖〕
响〔響〕
钟〔鐘〕
〃〔鍾〕
选〔選〕
适〔適〕
种〔種〕
复〔復〕
〃〔複〕
〃〔覆〕
胜〔勝〕
奖〔奨〕
养〔養〕
类〔類〕
总〔総〕
洼〔窪〕
洁〔潔〕
浊〔濁〕
恼〔悩〕
宪〔憲〕
垦〔墾〕
哄〔閧〕
垒〔塁〕
脉〔脈〕
迹〔跡〕
〃〔蹟〕
挂〔掛〕

10 画
艳〔艶〕
盐〔塩〕
热〔熱〕
壶〔壺〕
获〔獲〕
〃〔穫〕
恶〔悪〕
样〔様〕
础〔礎〕
致〔致〕
〃〔緻〕
顾〔顧〕
钻〔鑽〕
牺〔犠〕
敌〔敵〕
积〔積〕
脏〔臓〕
脑〔脳〕
胶〔膠〕
斋〔斎〕
准〔準〕
竞〔競〕
烛〔燭〕
递〔逓〕
涂〔塗〕
恳〔懇〕
剧〔劇〕
绣〔繡〕
涌〔湧〕

11 画
据〔据〕
〃〔拠〕
梦〔夢〕
悬〔懸〕
跃〔躍〕
偿〔償〕
盘〔盤〕
象〔象〕
〃〔像〕
猎〔猟〕
盖〔蓋〕
兽〔獣〕
惧〔懼〕
惊〔驚〕

12 画
琼〔瓊〕
联〔聯〕
硷〔鹼〕
确〔確〕
筑〔築〕
惩〔懲〕
腊〔臘〕
粪〔糞〕

13 画
碍〔礙〕
蒙〔蒙〕
〃〔濛〕
雾〔霧〕
签〔簽〕
酱〔醤〕
粮〔糧〕
辟〔闢〕
缠〔纏〕
韵〔韻〕

14 画
酿〔醸〕
愿〔願〕
稳〔穏〕

15 画
聩〔聡〕
霉〔黴〕

〔注〕本表は中国の文字改革出版社発行の「簡化字総表検字」などを参考にして共同通信社が作成した。